よくある質問

なぜ室温に戻す必要があるのですか？
冷たい温度のまま注射すると、注射部位に不快感を生じることがあります。
それを防ぐために室温に戻してからの注射を推奨しています。

一度外したキャップを元に戻してはいけない理由を教えてください。
キャップを元に戻すことで、中の針が曲がってしまう可能性があります。誤って針が刺さるおそれがありますのでご注意ください。

注射部位に押しあてる前に灰色のスタートボタンを押してしまったら、どうしたらよいですか？
まず、灰色のスタートボタンから指を離します。それからレパーサ140mgペンを注射する部位にあて、ペンが動かなくなるまでしっかりと皮膚に押し込むと、もう一度灰色のスタートボタンを押すことができます。

注射する部位を決めるときに皮膚の上でレパーサ皮下注140mgペンを動かしてもよいですか？
灰色のスタートボタンを押さなければ、注射する部位のまわりでレパーサ皮下注140mgペンを動かしても問題ありません。
ただし、レパーサ皮下注140mgペンが皮膚に押しこまれ、灰色のスタートボタンを押すと注射が始まります。

灰色のスタートボタンが押せない場合は、どうしたら良いですか？
黄色の安全カバーをしっかりと皮膚へ押し込み、再度スタートボタンを押し直してください。

注射を始めた後で灰色のスタートボタンを離さなくても大丈夫ですか？
スタートボタンを離さなくても問題ありません。ただし、注射中はペンをしっかりと皮膚に当てたままにしてください。

親指を離すと灰色のスタートボタンは出てきますか？
注射中に親指で押していた場合は、親指を離しても灰色のスタートボタンが出てこないことがありますが、問題ありません。

注射終了時に2回目の「カチッ」という音が聞こえなかった場合はどうしたらよいですか？
注射終了時に2回目の「カチッ」という音が聞こえないこともあります。薬液確認窓が黄色に変わっていれば、注射が終了しているので問題ありません。薬液確認窓が黄色に変わっていない場合は、主治医にご相談ください。

予定日に注射を忘れてしまいました。どうしたらよいですか？
必ず主治医に連絡し、いつ注射したらよいか指示を受けてください。

レパーサ皮下注140mgペンや注射について質問がある場合にはどこに問い合わせればよいですか？
主治医にご相談いただくか、アムジェン メディカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

お問合せ先（患者さん、ご家族の方向け）
アムジェン メディカルインフォメーションセンター　0120-952-206
受付時間：月曜～金曜日　9：00～17：30
（土日・祝日・会社休日を除く）

astellas

AMGEN

EVO245002DK1

AMGEN
レパーサ®
JA

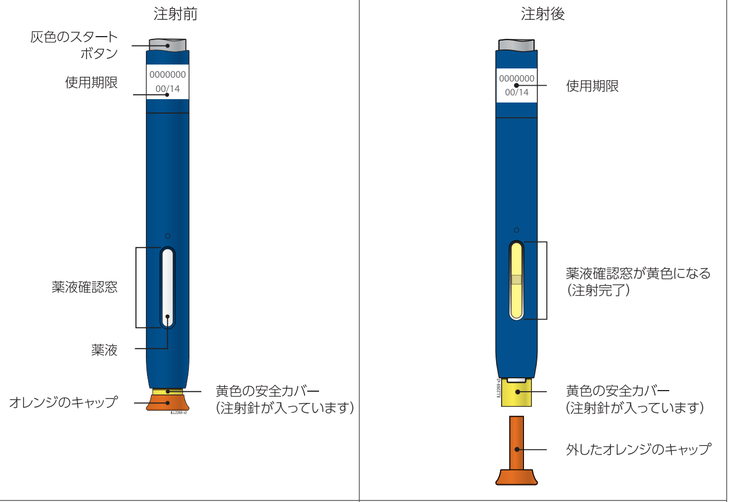
777.72-08

AMGEN
レパーサ®
JA

レパーサ®皮下注140mgペン
取扱説明書

【製品の概要】この製品は、針付シリンジを装着した単回使用・使い捨て、手持ち型のバネによるペン型の機械式注入器に医薬品を充填した製品です。

各部の名称



重要：黄色の安全カバー内に注射針が入っています。

重　要
レパーサ皮下注140mgペンを使用する前に、下記の重要な説明をお読みください：

⃠ **保管方法**
- お子様の手の届かないところに保管してください。
- 箱に入れたまま保管し、光や衝撃を受けないようにしてください。
- 冷蔵庫に入れ、２～８℃で保管し、**凍結させないでください。**
  冷凍庫など凍結する危険性のあるところは避けて、冷蔵庫のドアポケットなど、冷気に直接触れないところに保管してください。**凍結させないでください。**
  凍結した場合は**使用しないでください。**
- ２～８℃の条件に保管できない場合（処方後の帰路など）は、温度が極端に高い場所や低い場所で保管しないでください。例えば、車のダッシュボードやトランクでの保管は避けてください。

⃠ **使用時の注意**
- 医師等から訓練を受けていない場合は、**注射しないでください。**
- **振とうしないでください。**
- 注射の準備ができるまでオレンジのキャップを**外さないでください。**オレンジのキャップを外したら5分以内に注射してください。針内の薬液が乾き注射できないことがあります。
- 硬いところに落とした場合は**使用しないでください。**ひびなどが見えなくても部分的に破損しているおそれがあります。新しいレパーサ皮下注140mgペンを使用してください。
- 箱に表示した使用期限を過ぎている場合は、**使用しないでください。**

ステップ1：注射の前に

1A　レパーサ皮下注140mgペンの外箱を冷蔵庫から取り出し、30分以上待ちます。

1．箱のまま30分以上かけてレパーサ皮下注140mgペンを室温に戻します。
●薬液を全量投与するため、注射部位の不快感を最小限にするために重要です。
●室温に戻さないで投与すると、注射に時間がかかることがあります。
●温めないで、室温に放置してください。
2．箱を開けてレパーサ140mgペンをそっと静かに真っすぐ持ち上げ、箱から取り出します。
●お湯や電子レンジなどの熱源を使って**温めないでください。**
●直射日光の当たるところに**放置しないでください。**
●レパーサ皮下注140mgペンを**振らないでください。**
●オレンジのキャップはまだ**外さないでください。**

1B　レパーサ皮下注140mgペンを点検します。

薬液確認窓の中の薬液が透明で、無色～微褐色であることを確認してください。
使用期限を確認してください。

⃠ 次の場合はレパーサ皮下注140mgペンを使用せず、新しいレパーサ皮下注140mgペンを使用してください。：
- 薬液が濁っている、変色している、あるいは大きな塊や粒子が入っている。
- ひびが入っている、割れているところがある。
- 誤って硬いところにレパーサ皮下注140mgペンを落とした。
- オレンジのキャップがついていないか、しっかりと取りつけられていない。
- 使用期限を過ぎている。

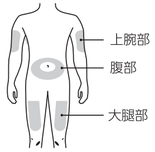
1C　注射に必要なものを用意します。

手を石鹸でよく洗います。清潔で明るく平らな場所に次のものを置きます：

●新しいレパーサ皮下注140mgペン
●消毒薬
●綿球または滅菌ガーゼ
●絆創膏
●廃棄用容器

1D　注射する部位を決めて消毒します。

次の部位に注射できます：
●大腿部
●腹部、ただしへそのまわり**5cm**以内は避ける
●上腕部の外側（この部位に注射できるのは医師等または訓練を受けた家族のみです）
　＊上腕部の外側は、患者自身では投与できません

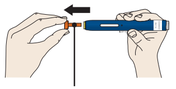


注射する部位を消毒して、皮膚を乾かします。
●注射するまで消毒した部位に再び**触れないでください。**
●注射するたびに部位を変えてください。同じ部位に注射しなければならない場合には、前回注射した場所と同じ場所にならないようにしてください。
●皮膚が敏感なところ、挫傷(ざしょう:打撲などにより皮膚表面の傷は少なく、皮下組織が傷ついた状態)、発赤(ほっせき:皮膚が充血して赤くなっている状態)、または硬結(こうけつ: 柔らかい組織が病的に硬くなった状態)している部位に**注射しないでください。**
●傷跡や妊娠線のあるところに**注射しないでください。**
●皮膚が盛り上がっている部位や厚くなっている部位、赤くなっている部位、またはうろこ状になった部位に**注射しないでください。**

本製品を3本投与する場合：
●ステップ１、ステップ2及びステップ3の手順に従って投与します。
●注射する部位（左右大腿部、腹部、左右上腕部の外側）を順番に変更します。
　＊上腕部の外側は、患者自身では投与できません。
●30分以内に連続3回投与します。

ステップ2：準備をする

2A　注射の準備ができたら、オレンジのキャップをまっすぐに引き抜きます。オレンジのキャップを外したら5分以内に注射して下さい。針内の薬液が乾き注射できないことがあります。



オレンジのキャップを引き抜いた際、注射針や黄色の安全カバーの先端に液滴がついていても問題ありません。

- オレンジのキャップをねじったり、曲げたり、小刻みに揺らしたり**しないでください。**
- 一度外したキャップは元に**戻さないでください。**
- 黄色の安全カバーに指を**入れないでください。**
- 注射の準備ができるまでオレンジのキャップを**外さないでください。**

もし注射ができないときは主治医にご相談ください。

2B　注射する部位（大腿部、腹部、上腕部の外側）を引き伸ばすか、またはつまんで、皮膚の表面を硬くします。医師等または訓練を受けた家族以外は上腕部の外側への投与はできません。

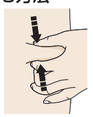
※上腕部の外側は患者自身では投与できません。

引き伸ばす方法

親指とほかの指を逆方向に動かして皮膚をしっかり伸ばし、5cmくらいの幅を作ります。

または

つまむ方法

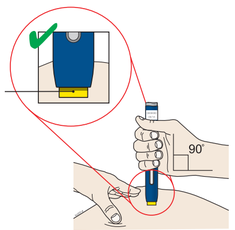


親指とほかの指で皮膚をしっかり5cm程度つまみます。

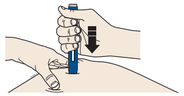
重要：注射中は皮膚を引き伸ばしたままか、つまんだままにしてください。

ステップ3：注射する

3A　皮膚を引き伸ばしたまま、またはつまんだまま、オレンジのキャップを外したレパーサ皮下注140mgペンを注射部位に直角にあてます。黄色の安全カバーの中に注射針が入っています。まだ灰色のスタートボタンに触れないでください。

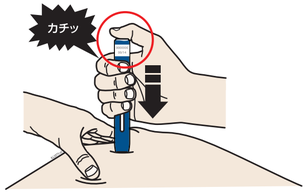


3B　レパーサ皮下注140mgペンが動かなくなるまでしっかりと皮膚に押し込みます。

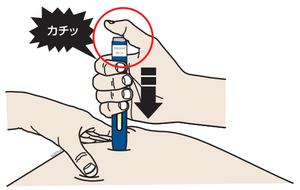


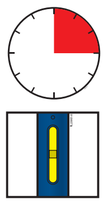
重要：できるだけ下へ押しこみます。注射の準備ができるまで灰色のスタートボタンには触れないでください。

3C　注射の準備ができたら、灰色のスタートボタンを押します。カチッという音を確認します。



3D　皮膚に押しあてたまま、親指を離します。注射時間は、約15秒です。





注射が終了すると、薬液確認窓が黄色に変わります。（終了時のカチッという音は聞こえない場合があります）

注意：レパーサ皮下注140mgペンを皮膚から離すと、注射針は自動的に黄色い安全カバーで覆われます。

重要：薬液確認窓の色が黄色に変わらない場合や、薬液が注入途中と思われる場合は、薬液の全量が注射できていない可能性があります。すぐに主治医にご相談ください。

ステップ4：終了

4A　使用済みのレパーサ皮下注140mgペンとオレンジの針キャップを捨てます。

使用済みのレパーサ皮下注140mgペンとオレンジのキャップを廃棄用容器に捨てます。医療廃棄物として適切に廃棄できるよう、正しい廃棄方法については、**医療従事者の指示に必ず従ってください。**
レパーサ皮下注140mgペンと廃棄用容器は常に**お子様の手の届かないところに保管してください。**

- レパーサ皮下注140mgペンを**再使用しないでください。**
- 外したキャップをレパーサ皮下注140mgペンに**戻したり、**黄色の安全カバーに**指を入れないでください。**
- レパーサ皮下注140mgペンや廃棄用容器を**再使用したり、家庭ゴミに捨てないでください。**

4B　注射した部位を確認します。

出血していたら、注射した部位を綿球または滅菌ガーゼでおさえて、止血してください。必要に応じて絆創膏を貼ってください。注射した部位を**もんだりこすったりしないでください。**